

TOSHIBA

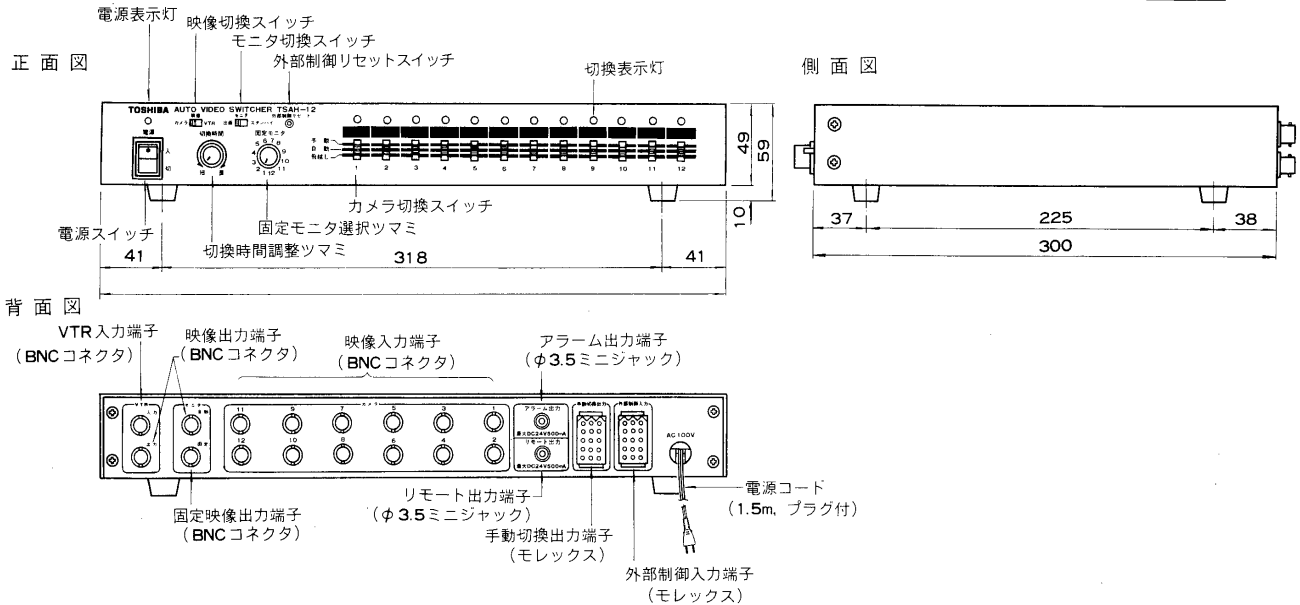
東芝自動映像切換器取扱説明書

TSAH-12

このたびは東芝自動映像切換器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めの自動映像切換器を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになったあとは必ず保存してください。

各部のなまえ

単位 mm



特にご注意を

■ 次のような場所での使用は故障の原因となりますのでおやめください。

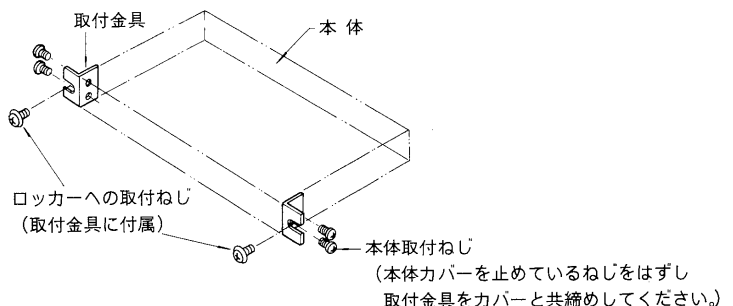
- 直射日光の当たる場所や50℃以上の高温になる場所。
- -10℃以下の低温になる場所。
- 雨や水のかかりやすい場所や、特に湿度の高い場所。

特長

- カラーカメラまたは白黒カメラを最大12台まで自動または手動で切り換えることができます。
- 自動切換映像の他、1台のカメラを固定して常に監視することができます。
- VTRを接続することができ、モニターテレビをカメラの監視用としても、VTRの再生用としても使用できます。
- センサーからの信号でカメラを選択して、出画し、ブザーの鳴動及び各種接点の出力をします。
- 手動切換出力信号により、リモコンチェンジャー、リレーボックス、リモコン操作器と組み合わせて、最大12台のカメラのリモコン操作ができます。

設置のしかた

- 本体は、そのまま卓上形で使用できます。
- ロッカーにマウントする場合には、底面のゴム足および側面前側のビス、各4個をはずしてから別売の取付金具 (LAD-1200) を使って右図のように取付けてください。



工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。 1

接続のしかた

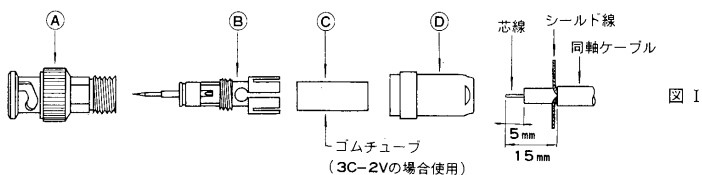
- テレビカメラと本映像切換器の間の最大伝送距離は、右表のとおりです。
- 接続用のBNCコネクタ及び3.5φミニプラグは、付属されていません。BNCコネクタは、別売のAFC-16をご使用ください。

同軸ケーブル	最大伝送距離(m)
3C-2V	250
5C-2V	500
7C-2V	600

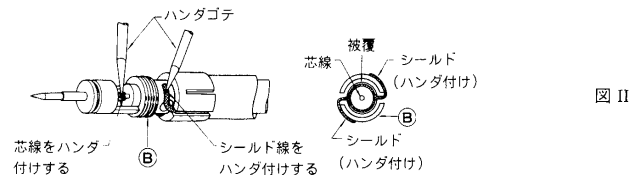
【BNCコネクタ(AFC-16)と同軸ケーブルの接続のしかた】

●BNCコネクタ(AFC-16)と同軸ケーブルの接続のしかた

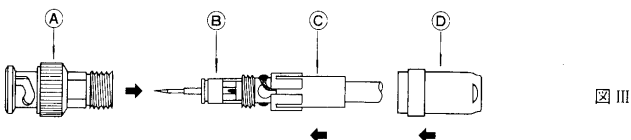
- 同軸ケーブルとBNCコネクタは次のように接続してください。
- BNCコネクタを図Ⅰのように①～④に分解し、④、③(3C-2Vの場合使用)を同軸ケーブルに通します。
- 同軸ケーブルの先端から15mmのところまで外皮をナイフで取り除きます。
- シールド線は2等分してよりあわせ、芯線は5mm出るよう絶縁物を取り除きます。
(図Ⅰ)
- ②を同軸ケーブルに通し図Ⅱのようにシールド線を②にまきつけシールド線、芯線を各々ハンダ付けします。
- 図Ⅲのように②と同軸ケーブルの間に③を通しスパナで①を②にねじ込み次に①に④をねじ込んで固定して完了です。
(図Ⅳ)



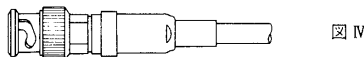
図Ⅰ



図Ⅱ

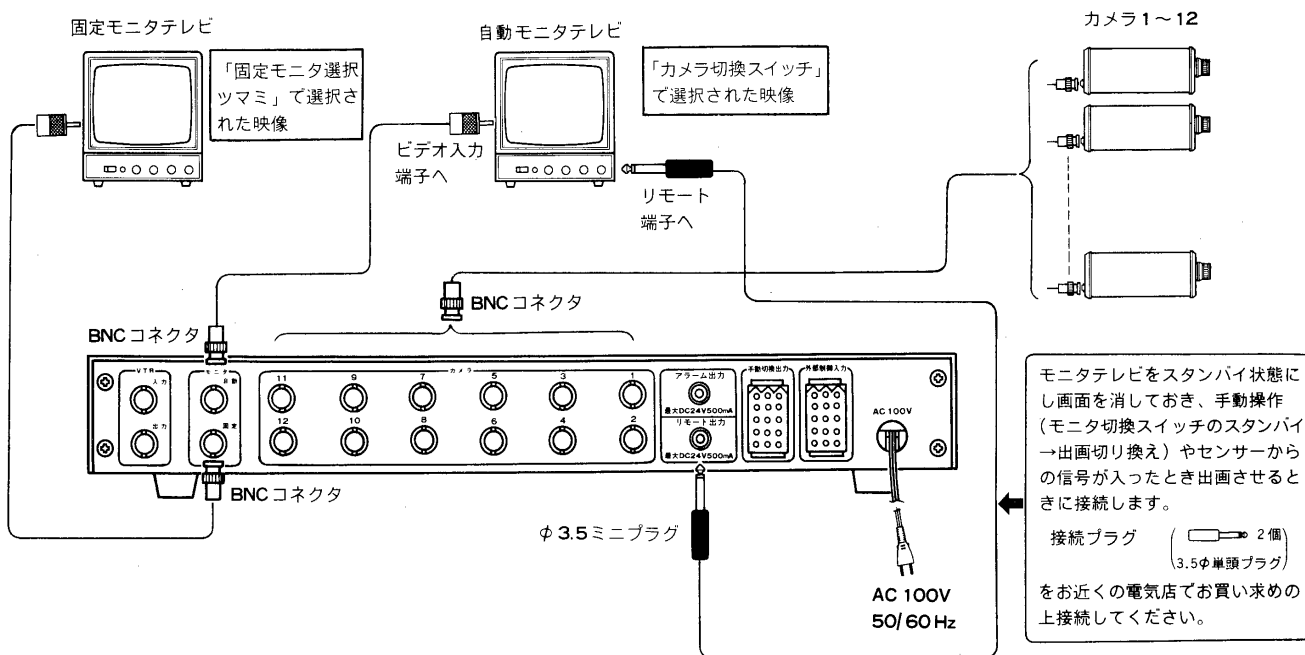


図Ⅲ



図Ⅳ

【カメラ、モニターテレビとの接続】



ご注意

リモート端子付モニターテレビ(TVM-90A、120A、170A、200A)の場合のみ接続できます。

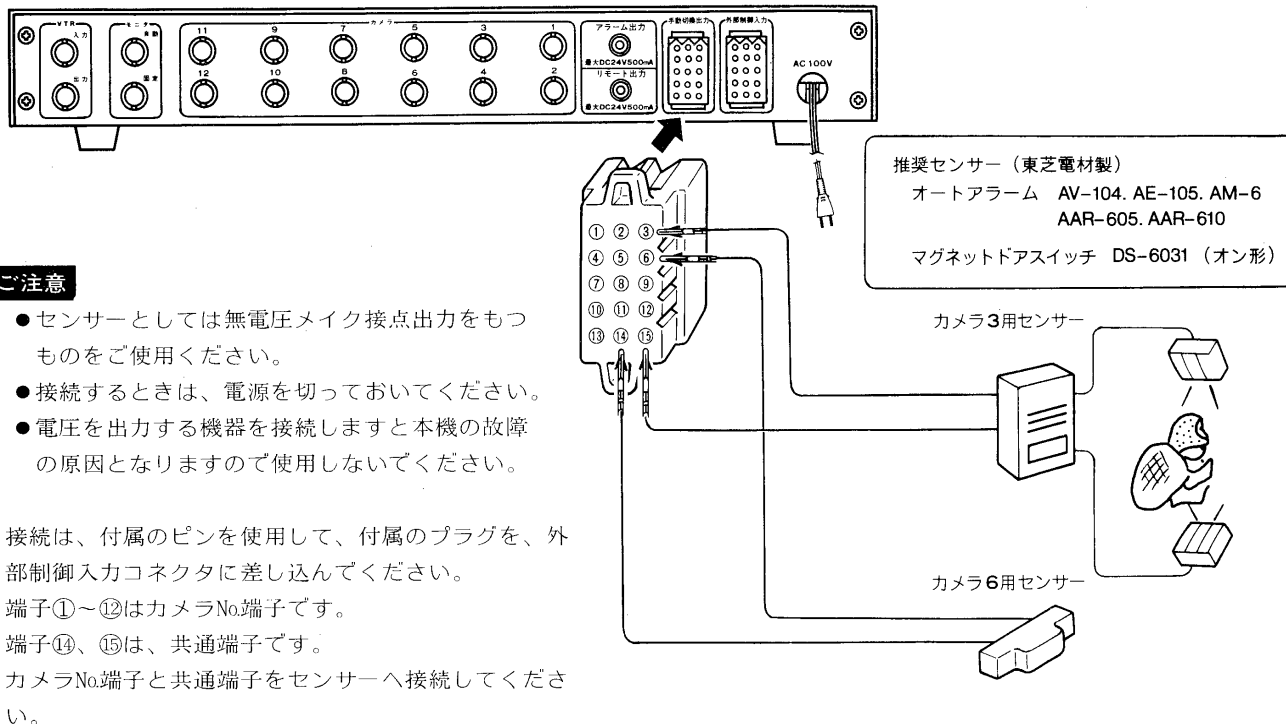
【センサーとの接続】

■オートアラームやドアスイッチなどのセンサーが働くと、モニタテレビの画面は働いたセンサーのカメラに切りかわり、ブザーが鳴り、VTRのアラーム録画や外設チャイムなどを鳴らすことができます。（一定時間）

■たとえばカメラ3、6をセンサー制御する場合は、下図のような接続となります。

■センサー動作について

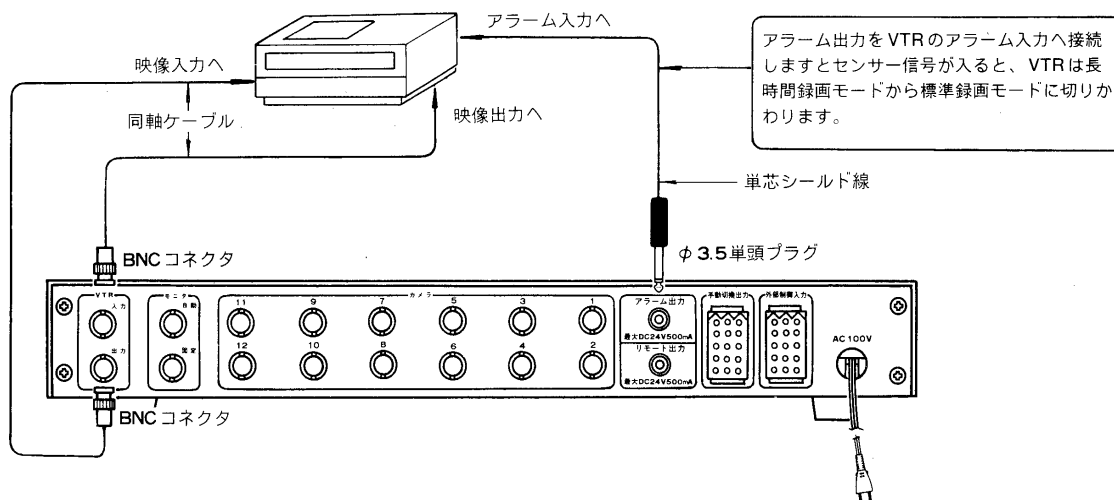
- 自動あるいは、手動でモニタ中に共通端子とカメラNo端子がメイクされる（ワンパルス動作）と、そのNo.のカメラに映像が切り換わり（最優先動作）、同時にブザーが鳴り（約10秒）、アラームおよびリモート出力（約2分）を出します。
- 複数のメイク信号が入った場合は最後のメイク信号入力のカメラが選択されます。（後信号優先）
- センサーによる動作時間は約2分間で信号が入力されるたびに延長されます。（リトリガー動作）



ご注意

- センサーとしては無電圧メイク接点出力をもつものをご使用ください。
- 接続するときは、電源を切っておいてください。
- 電圧を出力する機器を接続しますと本機の故障の原因となりますので使用しないでください。
- 接続は、付属のピンを使用して、付属のプラグを、外部制御入力コネクタに差し込んでください。
- 端子①～⑫はカメラNo端子です。
- 端子⑭、⑮は、共通端子です。
- カメラNo端子と共通端子をセンサーへ接続してください。

【VTRとの接続】



ご注意

- VTRとの接続用コネクタ（BNCコネクタ2個、3.5φ単頭プラグ1個）は付属していませんのでお買い求めください。
- 接続するときは電源を切っておいてください。

【 外設ブザーやチャイムとの接続 】

■センサーからの信号が入ったとき外設のブザーやチャイムを一定時間鳴らせることができます。

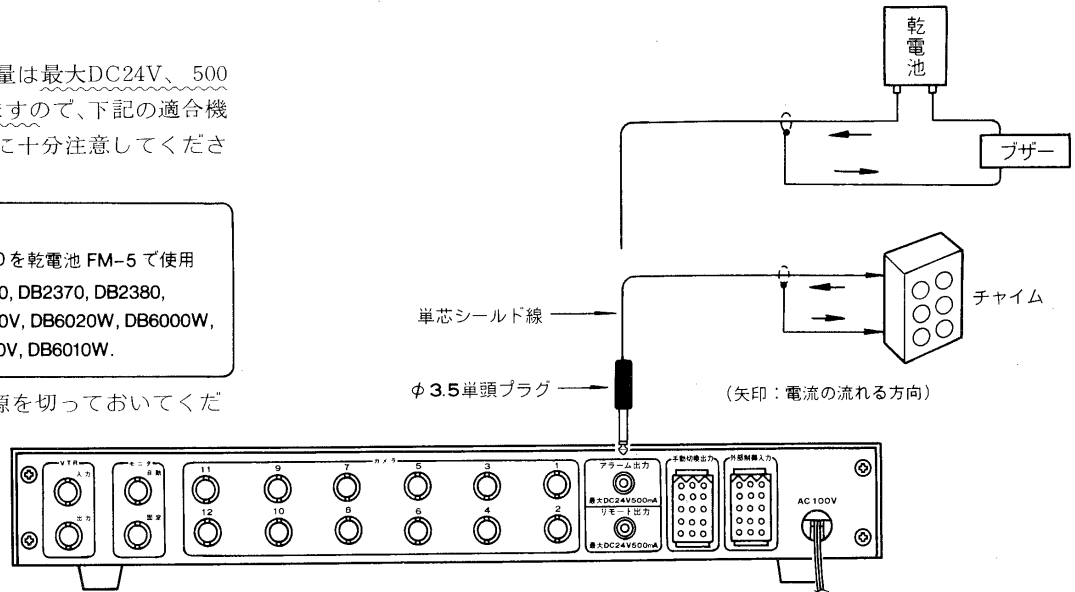
- アラーム出力端子にブザー、チャイムを接続します。

ご注意

- アラーム出力の容量は最大DC24V、500mAで極性がありますので、下記の適合機器を使用し、極性に十分注意してください。

推奨品（東芝電材製）
 低圧ブザー DB3170を乾電池 FM-5 で使用
 チャイム DB2360, DB2370, DB2380,
 DB6020V, DB6020W, DB6000W,
 DB6010V, DB6010W.

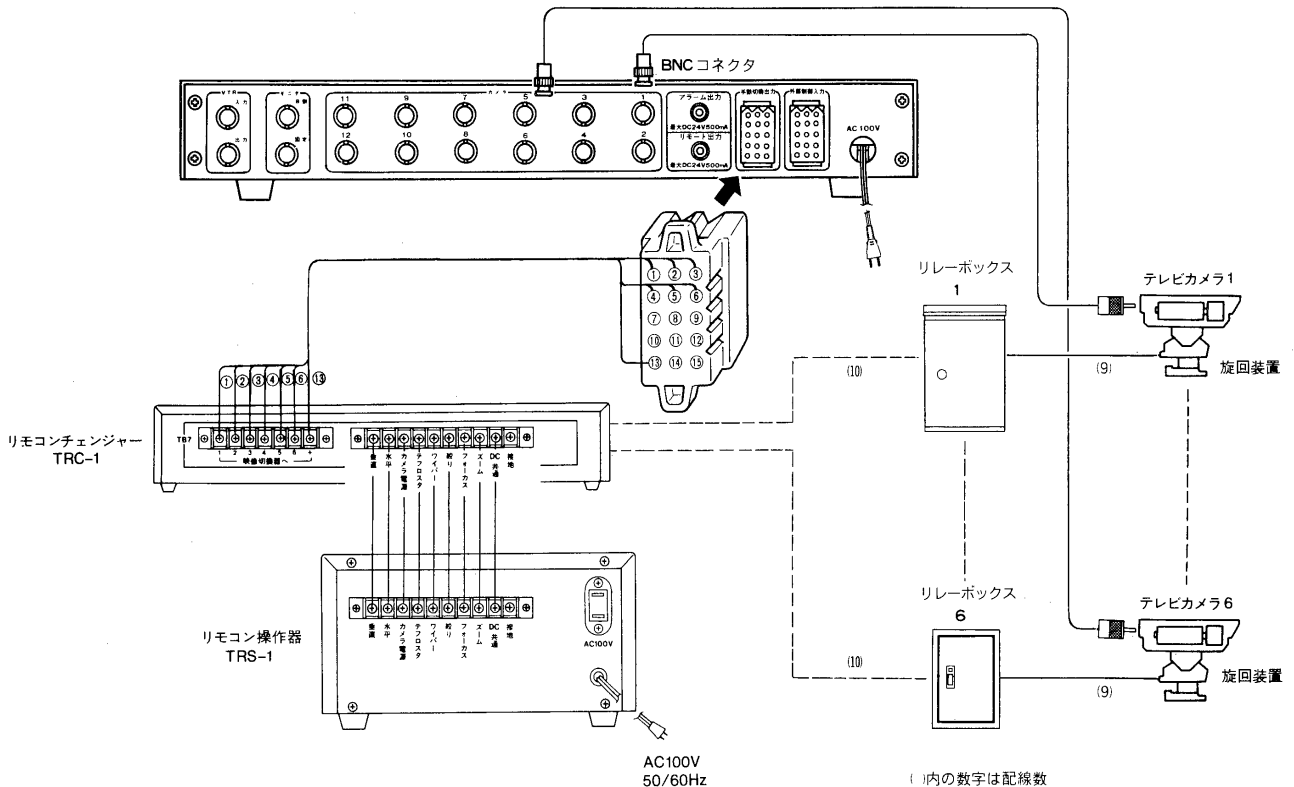
- 接続するときは電源を切っておください。



【 リモコンチェンジャー 1 台(カメラ 6 台までコントロール)との接続 】

- リモコン操作器 (TRS-1) 1 台
- リモコンチェンジャー (TRC-1) 1 台 } と組み合わせた場合
- リレーボックス (TRB-1、TRB-1W) ... 最大 6 台

- 手動切換出力信号によりリレーボックスとリモコン操作器の接続を切り換え、リモートコントロールできます。
- 手動切換出力端子をリモコンチェンジャーと下図のように接続してください。



ご注意

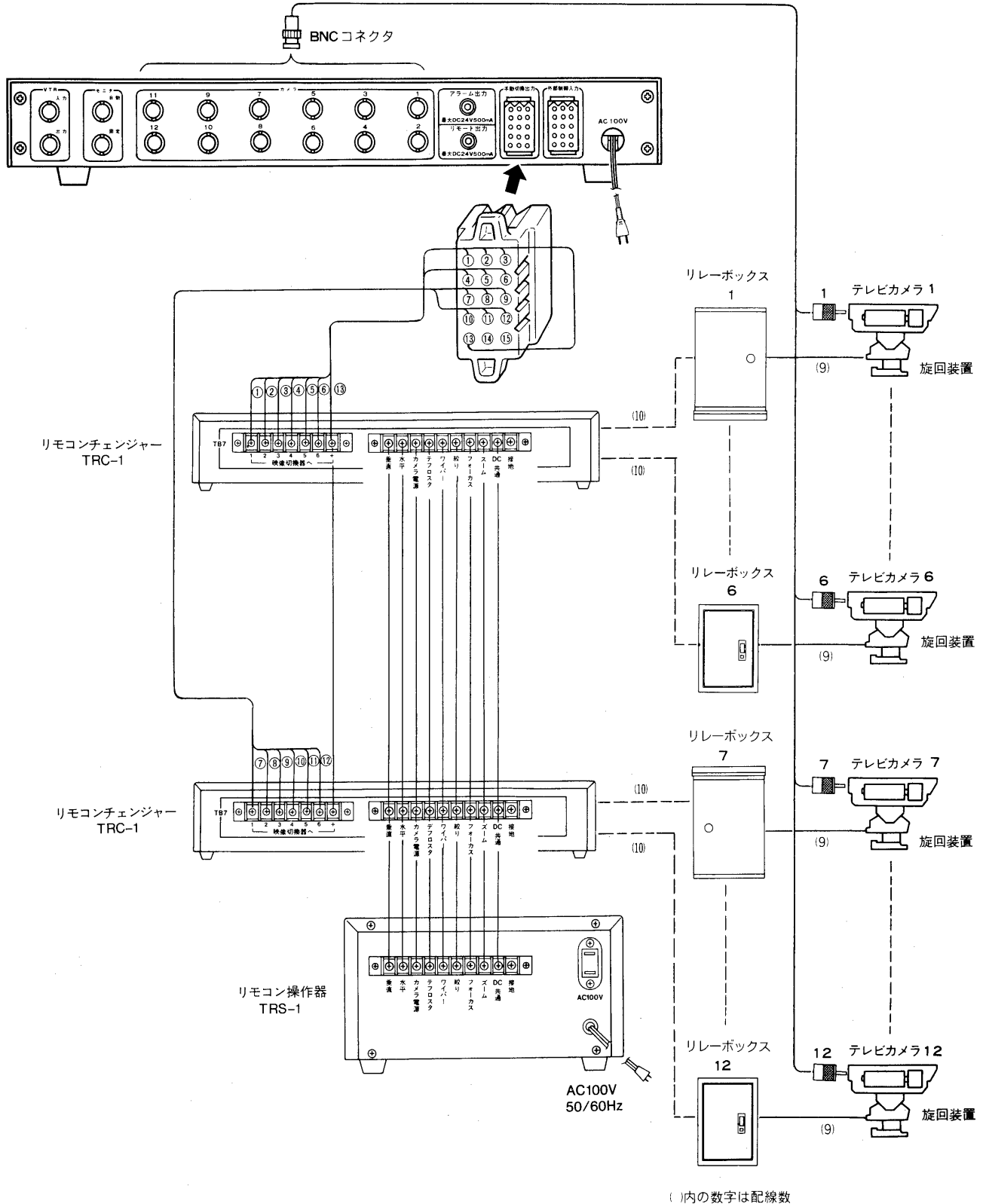
- リモコンチェンジャーとリレーボックス、リモコン操作器の間の配線については、リモコン操作器の取扱説明書を参照してください。

TOSHIBA

〔リモコンチェンジャー 2 台(カメラ12台までコントロール)との接続〕

- リモコン操作器(TRS-1) …………… 1 台
- リモコンチェンジャー(TRC-1) …………… 2 台 } と組み合わせた場合
- リレーボックス(TRB-1、TRB-1W) ……最大12台

- 手動切換出力信号によりリレーボックスとリモコン操作器の接続を切り換えリモートコントロールできます。
- 手動切換出力端子をリモコンチェンジャーと下図のように接続してください。



ご注意

- リモコンチェンジャーとリレーボックス間の配線については、リモコン操作器の取扱説明書を参照してください。

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

使いかた

- 正しく接続されているかももう一度お確かめください。
- 本映像切換器、モニタテレビ等各機器の電源を「入」にしてください。

〔カメラを選択して見るとき〕

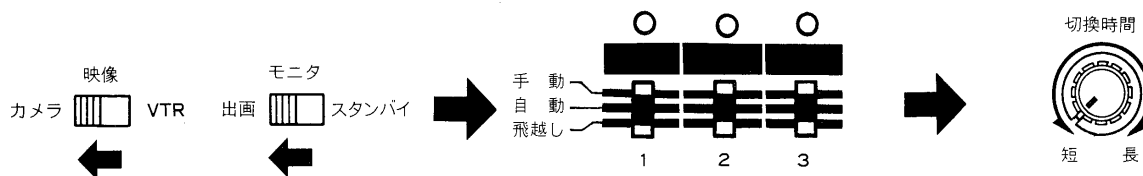
1. 映像切換スイッチをカメラ側にモニタ切換スイッチを出画側に切り換えてください。
2. 選択したいカメラのカメラ切換スイッチを“手動”の位置にしてください。



- 映像切換スイッチが2個以上、手動の位置にありますとカメラNo.の一番小さいカメラが選択されます。

〔自動切換で見るとき〕

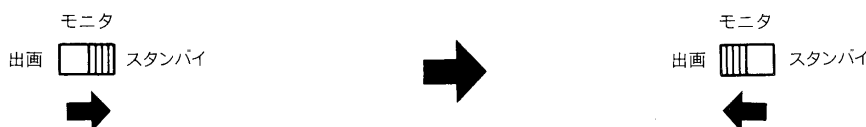
1. 映像切換スイッチをカメラ側に、モニタ切換スイッチを出画側に切りかえてください。
2. カメラ切換スイッチを全て“自動”の位置にしてください。(ただし、カメラを接続していないカメラ切換スイッチは“飛越し”の位置にします。)
3. 自動切換時間調節つまみをまわして切換時間を調節してください。



- 飛越しをしたいカメラは、カメラ切換スイッチを“飛越し”の位置にします。

〔モニタテレビに画面を出さないで置き、必要なときにすぐ画面を出したいとき〕

1. モニタ切換スイッチをスタンバイ側に切り換えますとモニタテレビの画面が消えます。(リモート端子を接続した場合)
2. 必要に応じモニタ切換スイッチを出画側に切り換えてください。モニタテレビにすぐ画面が出ます。



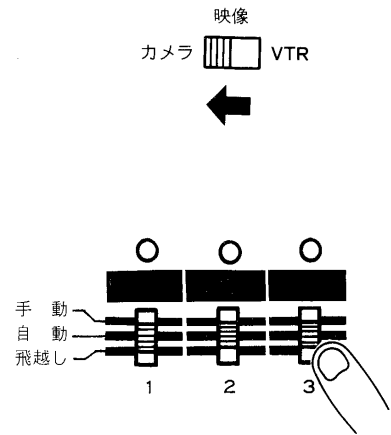
- リモート端子付モニタテレビ(TVM-90A, 120A, 170A, 200A)の場合可能となります。

〔センサーを接続したとき〕

1. 映像切換スイッチをカメラ側に切り換えてください。



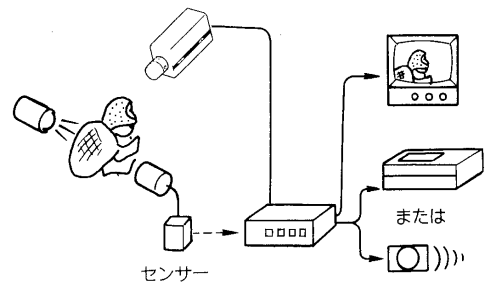
2. カメラ切換スイッチを操作してカメラを選択するか、あるいは、自動切換でモニタします。モニタの画面が正しく写っていることを確かめ、VTRに録画する場合はVTRの録画を開始してください。



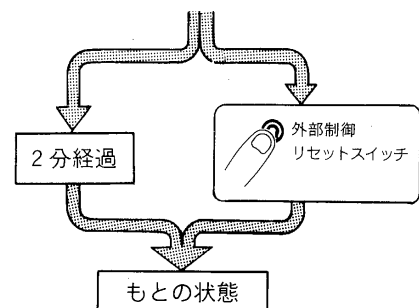
3. モニタテレビに常時は画面を出さないでおきたい場合はモニタ切換スイッチをスタンバイ側に切り換えてください。(リモート端子を接続した場合)



4. センサーが働き、センサーからの信号が入りますと、
 - センサーの働いたカメラに自動的に切りかわり、ブザーが鳴ります。
 - VTRを接続しているとアラーム録画を開始します。
 - ブザー、チャイム等を接続しているとブザー、チャイムが鳴ります。



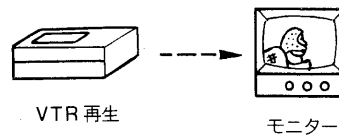
5. 約2分経過後 (VTRは設定したアラーム録画時間経過後) 自動的にもとの状態に戻ります。2分経過する前にもとの状態に戻りたい場合は外部制御リセットスイッチを押してください。



〔VTRの再生画像をモニタするとき〕

1. 映像切換スイッチをVTR側に切り換えてください。

2. VTRを再生しますとモニタで再生画像をモニタすることができます。

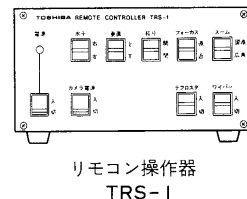
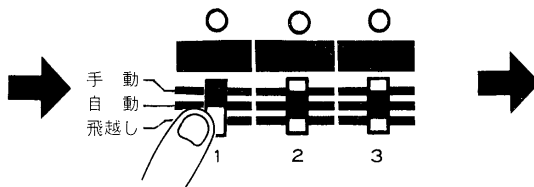


〔リモコン操作器を操作するとき〕

1. 映像切換スイッチをカメラ側にモニタ切換スイッチを出演側に切りかえてください。

2. 操作したいカメラのカメラ切換スイッチを“手動”の位置にして、そのカメラがモニタされていることを確認してください。

3. モニタテレビの映像を見ながらリモコン操作器を操作してください。



〔固定モニタするとき〕



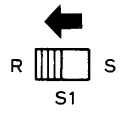
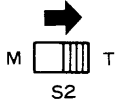
固定して、モニタしたいカメラを固定モニタ選択つまみで選んでください。モニタ固定出力から固定映像が出力されます。



工事店様へ

■用途により、下記の変更ができます。

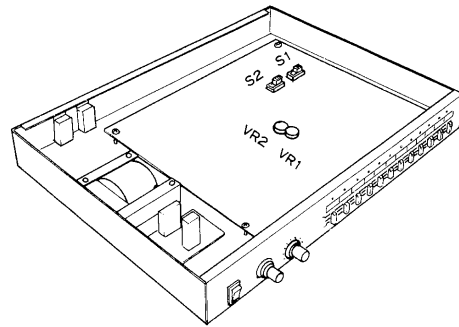
●上ケースをはずして、内部基板のボリュームあるいはスイッチの調整してください。

用途	対応可能事項	調整方法
①センサーによる動作時間 (約2分)を短くしたい	動作時間約10秒～2分の範囲 で調整可能。	ボリュームVR1を調整 
②ブザーの鳴動時間(約10秒) を長くしたい	鳴動時間約10秒～2分の範囲 で調整可能。	ボリュームVR2を調整 
③外部制御信号入力 (メイク信号)の間センサー 動作としたい。 ④入力信号は、複数入力さ れない事	可能。 (ワンパルス動作から) レベル動作となる ④入力信号が複数入力されると カメラNo.の最も大きいカメラ が選択されます	スイッチS1“R”側にする 
④映像出力と同じ接点を取り 出したい。	手動切換出力接点を手動時の み出力から、映像出力と同様 出力に変更可能。	スイッチS2を“T”側にする 

TOSHIBA

●調整のしかた

- ①上面の4個のビス及び両側面の各々4個のビスをプラスドライバーではずしカバーを取りはずします。
- ②ボリューム、スイッチを上記調整方法に従って調整してください。
(右図参照)
- ③カバーをもとどおりビスでとめてください。



仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	約 8 W
映 像 選 択	自動または手動 (飛越し機能付)
カメラ切換台数	12台
モニタ出力(自動)	VS1.0Vp-p/75Ω×1 (BNCコネクタ)
モニタ出力(固定)	VS1.0Vp-p/75Ω×1 (BNCコネクタ)
V T R 出 力	VS1.0Vp-p/75Ω×1 (BNCコネクタ)
V T R 入 力	VS1.0Vp-p/75Ω×1 (BNCコネクタ)
ア ラーム 出 力	メイク接点オープンコレクタ (最大DC24V、500mA、3.5φmmミニジャック) (センサー入力時動作)
リ モート 出 力	ブレイク接点 オープンコレクタ (最大DC24V、500mA、3.5φmmミニジャック) (センサー入力時動作)
セ ン サ ー 入 力	無電圧メイク接点入力×12
手 動 切 換 出 力	無電圧メイク接点出力×12 (最大DC 24V 500 mA)
自動映像切換時間	約 1 ~ 30秒 (調整可能)
外 観	鋼板
塗 装	ケース; ダークグレイ、パネル; オフブラックメタリック
使用周囲温度	-10℃~50℃
外 形 寸 法	400(幅)×59(高さ)×300(奥行) mm
重 量	約 6 kg
付 属 品	取扱説明書..... 1 サービスステーション一覧表..... 1 ヒューズ (0.3A) 1 15ピンプラグ (ピン15本付) 2

注 BNCコネクタは付属されていません。別売のBNCコネクタ(AFC-16)をお使いください。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、お買いあげの販売店またはお近くの東芝消費者ご相談センター、東芝サービスステーションにご相談ください。なおご相談されるときは形名 (TSAH-12) およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

TOSHIBA